

# 保 健 体 育

## 第1節 概 要

「第3次福島県長期総合教育計画」の「第2期実施計画」に基づき「心豊かな、たくましい人間」の育成をめざして、保健体育課においては、体育・保健・安全・給食の各分野の相互連携を図りながら昭和63年度福島県教育委員会重点施策である「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校教育の推進」と「健康づくりをめざす体育・スポーツの推進」を柱として各施策の推進を図った。

更に平成7年に本県で開催される第50回国民体育大会に向けて競技力の向上を図るため、競技力向上対策本部の整備充実、企業スポーツ連絡協議会の設立、指導者の養成確保、選手の育成強化など、国体開催県にふさわしい優秀な成績を取るため各般の施策を推進した。

### 1 学校体育の充実

学校体育担当教員の資質を向上させるため、各種体育実技指導者講習会をはじめ、格技（柔道・剣道）認定講習会等を開催した。特に、教職員を対象とする講習会には民間人の中から優れた指導者を派遣して実施するとともに、児童を対象とする指導協力者事業には豊富な経験を持つ民間指導者を学校に派遣し、児童の運動技能の向上及び教職員の指導力の向上を図った。

また、文部省指定「体力づくり推進校」「格技指導推進校」の研究推進をはじめ、県教委指定「体力づくり研究推進校」「集団・安全行動推進校」等の3年間の実践研究及び公開発表を契機として、その成果を地域の学校に普及させるように努めた。

更に、県下児童・生徒の体力・運動能力の実態を把握するため、スポーツテストを実施し、その分析結果を十分活用し、各学校の実態に応じた体力づくりの推進を図った。

また、小学校運動競技奨励事業を実施し、陸上競技会及び水泳競技会等を通して運動に親しむ児童の育成に努めるとともに、児童の体力・運動能力の向上を図った。

### 2 学校保健・学校安全の充実

学校における保健教育・保健管理の充実を図るため、学校保健関係教員を対象に、保健教育・安全教育指導者研修会をはじめ新採用、5年経験、中堅の各養護教諭研修会等を開催し、資質の向上に努めた。

また、教職員及び児童生徒の健康診断の内容の充実を図り、疾病・異常の早期発見に努めるとともに、学校保健委員会等の組織活動の促進に努めた。

更に、児童生徒のむし歯予防の実践研究を推進するため、昭和63年度から3年間、文部省指定の研究推進校1校を指定し、むし歯予防の推進に努めるとともに、児童生徒の健康づくりを推進するため、昭和61年度から3年間、県指定の研究推進校1校を指定し、学校における健康教育の推進に努めた。

次に、学校における安全教育・安全管理の徹底を図るため、

学校安全関係教員を対象に、交通安全教育指導者研修会等を開催し、資質の向上に努めた。

また、小・中学校、高等学校の児童生徒を対象に、「安全に関する図画・作文・習字・交通安全ポスター」の募集を行い、「国民安全の日」制定の趣旨の普及徹底を図るとともに安全意識の高揚に努めた。

### 3 学校給食の改善充実

本年度の学校給食の実施状況を児童生徒数で見ると、完全給食は小学校で97.9%、中学校では77.6%の実施率となった。

また、米飯給食は小・中学校とも完全給食実施校では、100%の実施率となっており、週当たりの回数は平均2.6回である。

次に、学校給食費は、1食当たり小学校で204円02銭、中学校で240円54銭となっている。

学校給食の適正な運営改善充実及び給食関係職員の資質向上を図るため、各所の研修会等を開催した。また、県教委指定の学校給食改善研究校2校を指定し、給食の改善、充実に努めた。更に食中毒や労働災害等の事故防止を図るため、文書、研修会、広報等により衛生思想の啓蒙、安全管理の指導に努めた。また、地域の特性に根ざした学校給食を実現するため学校・家庭・地域との連携に努めた。

### 4 県研究大会の開催

第12回福島県学校体育、保健・安全、給食研究大会を二本松市民会館を主会場として2日間の日程で県内関係者351名の参加を得て開催した。

大会主題「健康で活力に満ちた心豊かな幼児・児童・生徒の育成をめざして」に基づき、幼児・児童・生徒の健康の保持・増進を図るため、学校体育、保健・安全及び学校給食の諸問題について研究協議し、多くの成果を収めた。

### 5 社会体育の振興

県民の多様化しつつあるスポーツニーズに対応するため、野外活動（スケート）講習会や巡回スポーツ（健康・体力づくり）指導者講習会を開催し、指導者の養成と資質の向上を図るとともに、本年度から文部省等が主催した「第1回全国スポーツレクリエーション祭」に県内各地から14種目、140名の監督・選手を派遣し、生涯スポーツの普及・振興に努めた。

また、本年度は全国中学校選抜体育大会（水泳、ハンドボール、陸上競技）や少年・少女スポーツ教室を開催し、児童・生徒のスポーツ活動の推進に努めた。

更に、第15回東北総合体育大会を本県において開催したほか、国民体育大会への派遣や第50回国体へ向けての競技力の向上を図るため各般の事業を実施した。

そのほか本年度は第24回ソウルオリンピック大会をはじめとし、自転車競技等国际大会の派遣に助成を行ったほか、スポーツ少年団活動の日独スポーツ交流事業やオリンピックユ